



感性豊かな作品群に足を止めて
じっくり見入る来場者

作山キヌ 洋画『佐藤勝以

写真』・保坂洋子 工芸『畠山昭子

市芸術文化協会（藤嶋まさと会長）主催による第1回北秋田市美術展覧会が3月3日から5日まで、中央公民館で開催されました。この展覧会は、旧鷹巣町芸術文化協会が昨年まで開催していた町美術展を引き継ぎ、新たに「市展」として開催されたもので、日本画、洋画、書道、写真、工芸から148点もの創造性あふれる秀作が展示されました。

作品の審査は、県芸術文化協会推挙の審査員によって行われ、特賞5点、奨励賞20点が選ばれました。

特賞受賞者は次の方たちです。日本画『秋野徳治』、洋画『森吉』、書道『秋田県』、工芸『畠山昭子』。

創造性にあふれる意欲作が一堂に

第1回北秋田市美術展覧会



寒く厳しい阿仁の冬を温かく美しいものに
変えてくれた地域住民参加型イベント

地域資源を活かそう

スノーマン・キャンドル＆ジャズナイトat阿仁異人館

「スノーマン・キャンドル＆ジャズナイトat
阿仁異人館」

このイベントは、国際教養大学と県とが主催する「Akitaふるさと活力人養成セミナー」の現地研修の一環として、阿仁地区の観光資源である異人館と雪と人材を活用しようと、受講者自らが立案しました。

参加者は、秋田市を拠点に世界で活躍するジャズピアニストの早川泰子さんのライブや、雪を活用した滑り台などで楽しみ、夕方にはミニカマクラや、雪の壁に開けた穴にキャンドルが灯されると、街中が彩られ、雪と光のファンタジーに包まれました。



フラダンスを通じてハワイについて学んだ
浦田小の児童たち

フラダンスと一緒に

浦田小で交流会を開催

森吉地区の浦田小学校（児童数28人）で3月3日、「英語で遊ぼう・フラダンスを一緒に」という企画で、国際交流員のアンジエラ・敏子・トンプソンさんを講師に迎え、児童や保護者がハワイについて学びました。最初に、公民館講座のフラダンス教室でアンジエラさんの指導を受けている受講生が踊りを披露。心や海、波の形を表現すると、児童たちは真剣な眼差しで、見つめています。続いて、踊りの基礎を学んだ児童たちは、手作りのレイを身につけ、音楽に合わせて踊りました。はじめは、ぎこちなかつたものの、動きの意味を教わり、繰り返すうちに見る見る上達。笑顔あふれる交流会となりました。



旧体育協会の会長による合併調印

旧4町の体育協会が合併に向けて設立準備会を立ち上げ、活動を展開。この日は、旧体育協会の4会長による合併調印が行われ、競技別的新体協会旗29本が入场し、出席者の拍手で迎えられながらステージに並びました。並んだ体協旗をバツクに初代会長に就任した北林照助氏が「広域行政の時代を迎え、大同団結でスポーツ振興へ向けがんばりましょう」とあいさつ。新市体協の発足を祝うとともに、スポーツの発展に向け、一丸となつて運営に取り組んでいくことを確認しました。

財団法人北秋田市体育協会の合併調印式と祝賀会が3月4日、ホテル松鶴を会場に開催されました。

北秋田市体育協会が発足

スポーツの発展に向け、大同団結



小坂社中の協力により8年前から続いている
お茶会で見事なお点前を披露する園児たち

抹茶とお菓子を楽しんだ「桃の節句」

鷹巣西幼稚園「ひな祭りお茶会」

3月3日は「ひな祭り」。市内の幼稚園や保育園でも、ひな人形を飾り「桃の節句」を祝いました。このうち、坊沢にある鷹巣西幼稚園では、表千家・小坂キヌエ社中の協力を得て「ひな祭りお茶会」が開かれました。園のホールには、ひな人形が飾られ、華やいだ雰囲気の中、園児たちがきちんと正座でございさつ。小坂社中の皆さんのが、和菓子と釜の湯から点てた抹茶を振る舞うと、大きな茶碗を小さな手に持ち「先生、このお茶おいしいよ」「お菓子もかわいくておいしいね」などと、楽しんでいる様子でした。

最後には「うれしいひな祭り」を合唱し、お茶の先生たちに感謝の気持ちを伝えました。



自然を満喫し、歩くスキーを楽しむ参加者

第26回県民歩くスキーのつどい

県立北欧の杜公園で開催され、市内外から約370人の選手が参加。幼児から80代まで幅広い年齢層の方が歩くスキーを楽しみました。この大会は当初、県が主催で行つてきましたが、その後、旧合川町が引き継ぎ、今回から市主催で開かれたものです。

コースは1km、3km、5km、8kmが用意され、選手は自分の体力にあつた距離を、それぞれのペースで滑りました。ゴールの後は、地元桃栄集落の皆さんのが作つてくれた豚汁がふるまわれたり、合川特産の比内地鶏のキリタンポセツトやお酒などが当たる抽選会も開かれ、参加者は北欧の杜を満喫していました。

北欧の杜でさわやかな汗

第26回県民歩くスキーのつどい

3月26日、県立北欧の杜公園で開催され、市内外から約370人の選手が参加。幼児から80代まで幅広い年齢層の方が歩くスキーを楽しみました。

この大会は当初、県が主催で行つてきましたが、その後、旧合川町が引き継ぎ、今回から市主催で開かれたものです。

コースは1km、3km、5km、8kmが用意され、選手は自分の体力にあつた距離を、それぞれのペースで滑りました。ゴールの後は、地元桃栄集落の皆さんのが作つてくれた豚汁がふるまわれたり、合川特産の比内地鶏のキリタンポセツトやお酒などが当たる抽選会も開かれ、参加者は北欧の杜を満喫していました。